

2022年4月4日
第140号

全労連 憲法 平和闘争ニュース

全労連
憲法・平和グループ

ロシアのウクライナ侵略に抗議！ 新宿連続デモ 憲法9条いやすことが戦争をなくす力になる！

全労連は4月1日夜、3回目となるロシアのウクライナ侵略に抗議する新宿駅東口アルタ前での宣伝とアピールデモを行い、120人が参加しました。

全労連の黒澤幸一事務局長は、「ロシアのウクライナ侵攻は1カ月を超えた。1日でも1分でも早く戦争を終わらせたい。この機に軍事力の強化や核共有などを言う人たちがいるが、そういうことは間違いだと言う声も大きくなっている。軍事力や核の抑止力では戦争は止められない。一人ひとりが『戦争はいけないこと』だと声をあげることが大事。憲法9条をいやすことが戦争をなくす力になる」と訴えました。



●全印総連東京地連 春闘統一行動日に憲法学習や宣伝を実施

全印総連東京地連の2022春闘は3年目となりコロナ禍の影響下で、5次にわたる統一行動を展開しています。3月18日の第2次統一行動日には憲法学習会を行いました。日本平和委員会事務局長の千坂純さんを講師に「紛争解決は平和外交で」をテーマに憲法・平和の学習会をオンライン併用で行い、22人が参加しました。先制攻撃を可能にすることや軍備拡張の路線をとることは世界の平和にとって逆効果であり、国連憲章のさらに先に行く憲法9条と核兵器禁止条約をもとに政策転換が必要なことを学びました。



3月25日の第3次統一行動日は、憲法宣伝を提起しており、出版労連と全印総連の共同宣伝行動として「ウクライナ侵攻」に反対し、「知る権利」を考えようと、新宿東南口、有楽町イトシア前、神保町、本郷三丁目の都内4か所同時の行動に47人が参加しました。共通のチラシや「ロシアによるウクライナ侵攻 STOP」などのプラカードを掲げたり、憲法9条を守り・生かそうの幟なども使い、道行く人々に訴えかけました。

また、新宿東南口での宣伝のメンバーは、宣伝行動の終盤には、全労連が呼びかけた「ウクライナ侵攻に反対する新宿アピールデモ」隊に合流して、引き続きアピール行動をしました。